

プレスリリース

久留米絣と松枝家

2024年10月12日（土）～12月1日（日） 福岡県立美術館

■内覧会

開催日：2024年10月11日（金）

15:30～17:30（17:30までに入室ください）

■展覧会の内容について

見どころ① 松枝家代々を紹介する初の展覧会です

これまで福岡県立美術館では松枝家3代目・玉記（1905-1989）の展覧会や小特集を行ってきました。また、玉記の作品に加え、5代目・哲哉（1955-2020）の作品も所蔵してきました。しかし、明治期、西南戦争の頃に久留米絣を家業とした初代・光次（?-1900頃）から、現在活躍する小夜子（1956-）、崇弘（1995-）までの、歴代の作品を紹介する展覧会はこれまで無く、初めての展覧会です。

見どころ② 松枝家の久留米絣を約100点展示します

明治期の裂から今年の最新作まで、松枝家の絣を中心に約70点展示します。作品保護のため前期と後期で展示替えを行い、両期合わせると約100点のご紹介となります。松枝家の作品をこれだけの数まとめて展示する展覧会も、今回が初めてです。

見どころ③ 松枝家の絵絣の美しさをじっくりご覧いただけます

久留米絣は、地域ごとに柄の特徴があり、例えば八女をはじめとする山間部の地域は細やかな小柄、松枝家のある三潞郡大木町をはじめとする平野部の地域は柄の大きな絵絣が特徴的です。松枝家は絵絣を得意とし、華やかで多種多様な絣を織り出してきました。歴代の作品からは、当時の流行や各代の作品の特徴が見られます。とくに、具象的な絵絣を制作した玉記、哲哉の作品は、絵絣の極地とも言えます。珠玉の作品群を、間近でご覧いただけます。



見どころ④ 玉記生誕 120 年記念であり、哲哉遺作展でもあります

今年は、数え年で玉記が 120 歳となる年です。また、2020 年に病で急逝した哲哉の遺作展が、新型コロナウイルス感染症の影響でずっと開催できずにいました。玉記の生誕 120 年記念展であり、4 年越しではありますが、ずっと待ち望まれた哲哉の遺作展でもあります。

■イベント情報

会期中、各種イベントを開催いたします。

○特別講演会「松枝家の久留米絣の魅力—グローバルな視点を交えて

現代工芸の代表的な研究者であり、本展図録にも巻頭論文をご寄稿いただいた外館和子氏をお招きし、松枝家の絣についてお話しいたします。

日時：10 月 13 日（日）14:00～（13:45 開場、1 時間程度）

登壇者：外館和子氏（多摩美術大学教授）

会場：福岡県立美術館 4 階視聴覚室

定員：80 名（要予約、参加無料）

○リレーイベント「藍のものがたり」から「久留米絣と松枝家」へ

久留米市美術館で開催中の展覧会「藍のものがたり」と当館「久留米絣と松枝家」をつなぐトークイベントです。

日時：10 月 14 日（月・祝）14:00～（13:30 開場、2 時間程度）

登壇者：

竹村眞一氏（京都芸術大学教授）

十四代今泉今右衛門氏（重要無形文化財「色絵磁器」保持者）

松枝小夜子氏（日本工芸会正会員、重要無形文化財久留米絣技術保持者会会員）

松枝崇弘氏（日本工芸会正会員）

会場：石橋文化ホール（久留米市野中町 1015）

定員：1,000 名（申込不要、参加無料）

○トーク「久留米絣と松枝家の「これまで」

○トーク「久留米絣と松枝家の「これから」

松枝家と福岡県立美術館学芸員との対談から、久留米絣と松枝家の「これまで」を振り返り、「これから」を考えます。

「久留米絣と松枝家の「これまで」

日時：10 月 20 日（日）14:00～（13:45 開場、1 時間程度）

登壇者：松枝小夜子氏

魚里洋一（新県立美術館建設室・前福岡県立美術館副館長）

会場：福岡県立美術館 4階視聴覚室

定員：80名（申込不要、無料）

「久留米緋と松枝家の「これから」」

日時：11月2日（土）14:00～（13:45開場、1時間程度）

登壇者：松枝崇弘氏

中島由実子（福岡県立美術館学芸員）

会場：福岡県立美術館 4階視聴覚室

定員：80名（申込不要、無料）

○ワークショップ「かすり・ぺたぺた」「かすり・とんからり」

久留米緋を見て触れて、体験するワークショップです。

日時：11月10日（日）

講師：松枝家

会場：福岡県立美術館 4階視聴覚室

○ギャラリートーク

展示作品について、本展担当学芸員が解説します。

日時：10月19日（土）、10月31日（木）、

11月16日（土）、11月20日（水）いずれも14:00～（30分程度）

会場：福岡県立美術館 4階展示室

参加無料（要入場券）、申込不要

■展覧会概要

展覧会名：久留米緋と松枝家

会期：2024年10月12日（土）～12月1日（日）

観覧時間：10:00～18:00（最終入場は17:30まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）

会場：福岡県立美術館（〒810-0001 福岡市中央区天神5-2-1）

電話：092-715-3551 FAX：092-715-3552

入場料：

一般800円（600円） 高大生500円（300円） 小中生300円（200円）

*65歳以上は600円

* () 内は 20 名以上の団体料金。

* 次の方々は無料／身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者／教職員が引率する小・中・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の生徒及びその引率者／土曜日来場の高校生以下の方／11月17日(家族の日) 来場の方

主催：福岡県立美術館

特別協力：松枝家

後援：福岡市

■同時期開催

展覧会名：「生誕 100 年 山下清展 百年目の大回想」

会期：10月25日(金)～12月22日(日)

会場：福岡県立美術館 3階展示室

■広報用画像について

- ・写真の使用は本展覧会を紹介する場合に限らせていただきます。
- ・内覧会にて撮影いただきました画像は、広報にご使用いただけます。
- ・画像掲載時には、作品キャプション、クレジットを記載ください。
- ・掲載前には、担当まで校正データをお送りください。
- ・掲載誌を 2部ご送付ください。

広報用に作品画像データをご用意しております。ご希望の際は、以下ご記入の上、FAXもしくはMailにてお申し込みください。

■本展お問合せ先

福岡県立美術館 学芸課 中島(本展担当学芸員)

〒810-0001 福岡市中央区天神 5-2-1

TEL：092-715-3551／FAX：092-715-3552

Mail：info@fukuoka-kenbi.jp

福岡県立美術館 「久留米絣と松枝家」展 担当 行
(FAX : 092-715-3552、Mail : info@fukuoka-kenbi.jp)

「久留米絣と松枝家」展 広報素材使用申込書

【画像借用・ご使用の際には、以下の事項を必ずお守りください】

- ・写真の使用は、本展覧会を紹介する場合に限らせていただきます。
- ・広報用画像掲載時には、必要なキャプションを必ず記載してください。
- ・掲載前には、当館まで校正データをお送りください。
- ・作品画像は全図でご使用ください。トリミングや文字を重ねるなどの画像加工はできません。
- ・WEBにて掲載の場合は、コピーガード（※右クリック不可）をお願いします。
- ・ご使用後はデータを破棄するとともに、掲載誌を2部、当館宛にご送付ください。

使用を希望する作品

- ①松枝哲哉 《久留米絣着物「筑後路・花火シリーズII」》【後期展示】
- ②松枝哲哉 《久留米絣着物「光韻」》【前期展示】
- ③松枝哲哉 《久留米絣着物「紫陽花」》【前期展示】
- ④松枝小夜子 《久留米絣着物「露の波」》【前期展示】
- ⑤松枝小夜子 《久留米絣着物「花輪」》【後期展示】
- ⑥松枝崇弘 《久留米絣着物「森の光・雨音」》【前期展示】
- ⑦松枝崇弘 《久留米絣着物「光の系譜」》【後期展示】

貴社名			
ご担当者名			
TEL :			FAX :
Mail :			
ご住所 :			
媒体名 :			
掲載予定日 :	月	日	
読者・視聴者プレゼント用招待券			
希望する (枚を 月 日 まで) / 希望しない			

【広報用提供図版】



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

【詳細キャプション】

図版使用の際は、下記キャプションを併記ください。

- ① 松枝哲哉《久留米絣着物「筑後路・花火シリーズⅡ」》2019年、福岡県立美術館蔵【後期展示】
- ② 松枝哲哉《久留米絣着物「光韻」》2016年、個人蔵【前期展示】
- ③ 松枝哲哉《久留米絣着物「紫陽花」》2001年、九州国立博物館蔵（撮影：落合晴彦）
【前期展示】
- ④ 松枝小夜子《久留米絣着物「露の波」》2021年、(株)フジデンシ・ドットコム社蔵【前期展示】
- ⑤ 松枝小夜子《久留米絣着物「花輪」》2022年、個人蔵【後期展示】
- ⑥ 松枝崇弘《久留米絣着物「森の光・雨音」》2021年、個人蔵【前期展示】
- ⑦ 松枝崇弘《久留米絣着物「光の系譜」》2022年、個人蔵【後期展示】

※上記以外で、展示中の作品の作品画像をご希望の場合は、別途担当までお問い合わせください。